

令和元年 6 月 25 日
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

夏のピーク電力削減には、ヒートポンプ・蓄熱システム ～『ヒートポンプ・蓄熱月間』がスタート～

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター（東京都中央区、理事長：小宮山 宏）では、各省庁・関係諸団体のご後援・ご協賛を賜り、毎年 7 月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、さまざまな活動を展開しています。

<ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けて活動する“ヒートポンプ・蓄熱月間”>

当センターでは、平成 10 年より冷房需要が本格化する毎年 7 月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、ピーク電力削減効果が高く、省エネ性・環境性に優れ、更には非常災害時には防災機能を兼ね備えた「ヒートポンプ・蓄熱システム」について、普及促進と技術向上を目的に、産官学と一体となり、さまざまな活動を展開してまいりました。

22 年目を迎える本年も、これまで同様、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大にご貢献いただいた 62 企業・団体への感謝状（盾）の贈呈をはじめ、東京大学公共政策大学院 教授 有馬 純 氏に特別講演をいただく第 16 回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムおよび電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナーなど、普及促進活動を予定しております。

※実施概要については別紙をご参照ください。

<ヒートポンプ・蓄熱システムで“夏のピーク電力を削減”>

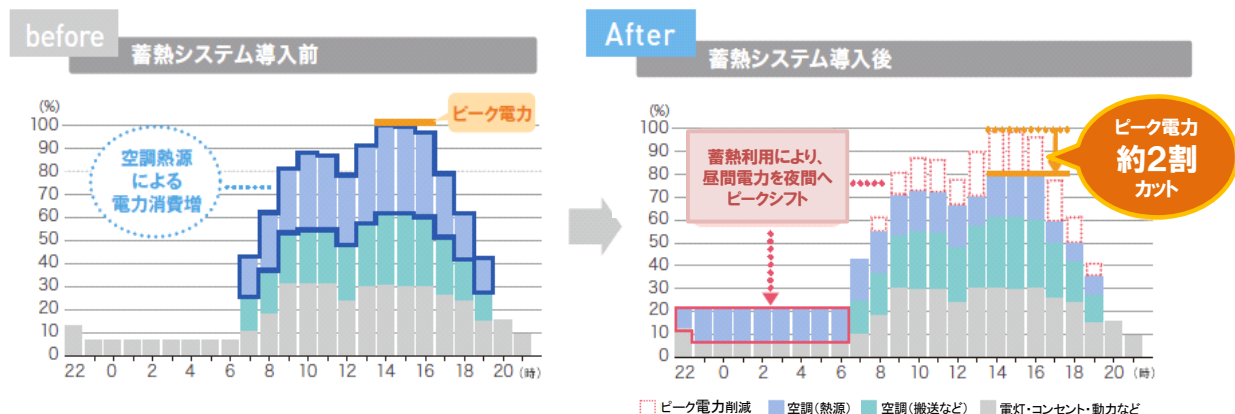
経済産業省においては、2019 年度夏季の電力需給について、昨年と同様に全国で電力の安定供給に最低限必要とされる予備率 3%を確保できる見通しであることから、数値目標付きの節電要請等の対応は実施せず、無理のない範囲での節電を呼びかける方針ですが、更なる省エネルギーや地球温暖化防止のために、エネルギー効率の改善はもとより、電気需要平準化などの取組をより一層推進することが求められる状況です。

このような状況において、ピーク時間帯を中心とする使用電力の削減については、引き続き重要な課題と考えられ、ヒートポンプ・蓄熱システムの効率的な運用は、これら課題の解決に大いに役立つものと考えております。

☺☺☺ 夏のピーク電力削減のカギは空調

夏季は昼間を中心に空調が最も多くの電力を消費しております。ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分を夜間に「蓄えた」冷水や氷で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約 2 割カットすることができます。

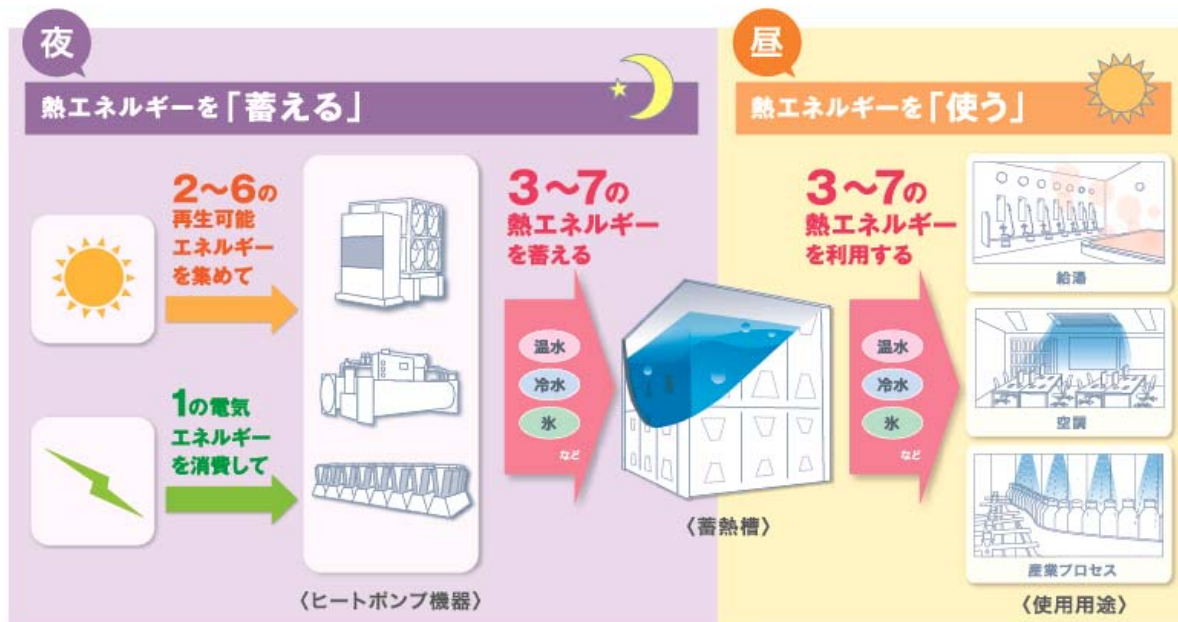
<事務所建物のモデルケース>



<給湯や産業プロセスなど様々な場面でヒートポンプ・蓄熱システムは活躍しています>

ヒートポンプ機器と蓄熱システムを組み合わせるヒートポンプ・蓄熱システムは、空調（冷暖房）や給湯、産業プロセス等に必要となる熱や冷熱を温水や冷水（氷）として夜間に蓄熱槽（タンク）へ「蓄えて」、昼間に必要となる時間に取り出して「使う」システムです。このように蓄熱槽（タンク）とヒートポンプ機器を組み合わせることにより、省エネルギーとピークシフト（本来昼間に使う電力の夜間移行）を同時に実現することができます。

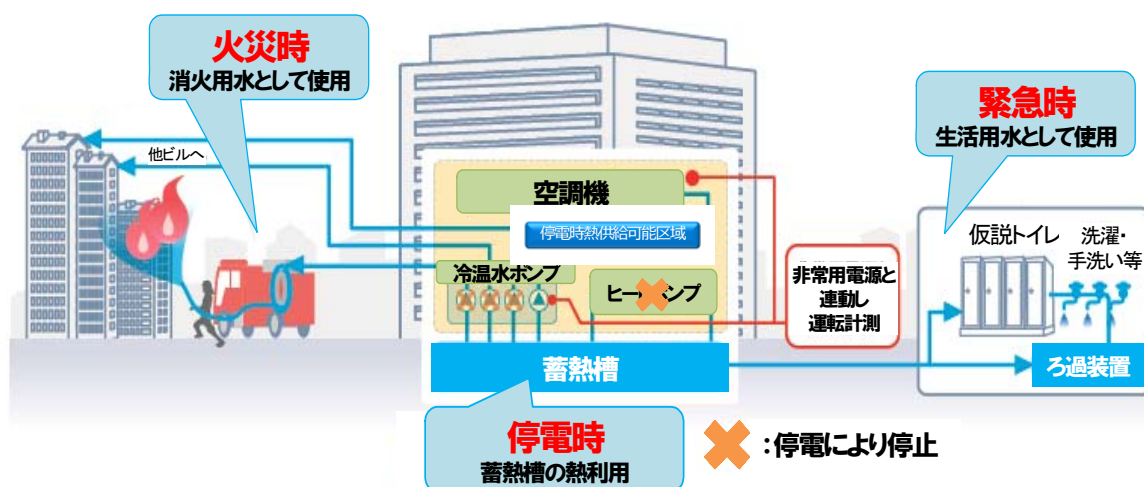
※ヒートポンプ機器は電気エネルギーだけでなく、空気や水などから自然の熱（再生可能エネルギー）を「集めて」熱を作るため、高効率な運転が可能です。



<ヒートポンプ・蓄熱システムは非常災害時にも活躍>

蓄熱槽の水は非常災害時には、トイレや手洗い等の生活用水や火災時の消火用水として、また、ろ過装置を備えれば飲料用水としても利用することができます。さらに、蓄熱槽水の活用として、災害時に停電となった場合でも、蓄熱槽水の保有熱を利用することにより、冷暖房を行うことができます。

<非常災害時における蓄熱槽水の利用イメージ>



<お問い合わせ先>

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 遠山
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目28番5号 ヒューリック蛸殻町ビル6階
TEL. 03-5643-2401 FAX. 03-5641-4501

『ヒートポンプ・蓄熱月間』の実施概要

1. 目的

冷房需要が本格化する毎年7月を『ヒートポンプ・蓄熱月間』と定め、ピーク電力削減効果が高く、省エネ性・環境性に優れ、更には非常災害時には蓄熱槽水を消防用水や生活用水として活用することが可能となる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に、産官学一体となり、さまざまな活動を実施いたします。主な活動内容としまして、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた52企業・団体への感謝状(盾)贈呈やセミナー・シンポジウム開催などの諸活動を実施いたします。

2. 期間

令和元年7月1日(月)～令和元年7月31日(水)

3. 活動内容

(1) ヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご貢献いただいた62企業・団体への感謝状(盾)を贈呈

※詳細は参考資料1をご参照ください。

(2) 第16回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの開催

環境性はもとより、省エネルギー性や経済性にも優れたヒートポンプ・蓄熱システムの運用改善による更なる性能向上や有効活用に向け、「有識者からの特別講演」および「ヒートポンプ・蓄熱システムに関する運転管理に係わる改善事例発表」等を実施するヒートポンプ・蓄熱シンポジウムを開催いたします。

<シンポジウム>

日時	令和元年7月22日(月) 13:00～17:25 (12:30 受付開始)
会場	国際ファッションセンタービル 3F KFC Hall
特別講演	[講演内容] 地球温暖化問題と我が国の課題 [講演者] 東京大学 公共政策大学院 教授 有馬 純 氏

<施設見学会>

日時	令和元年7月23日(火) 9:30～12:00
会場	大手町プレイス

※詳細は参考資料2をご参照ください。

(3) 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナーの開催

有識者による蓄熱×ヒートポンプのスマート空調・給湯システムの最新技術に関する講演と電力負荷平準化や省エネに取り組む建物の紹介等を通じ、電力負荷平準化や省エネルギーの重要性を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進を実施いたします。全国10個所でセミナーを開催いたしますが、ヒートポンプ・蓄熱月間中においては九州・中国地区で開催を行う予定です。

※詳細は参考資料3をご参照ください。

<セミナー>

(広島)

日時	令和元年7月12日(金) 13:30～17:00 (13:00 受付開始)
会場	サンポートホール高松

(高知)

日時	令和元年7月25日(木) 13:30～17:00 (13:00 受付開始)
会場	RCC文化センター

※上記以外では、富山(6/12 開催済)、札幌(8/27 開催予定)、東京(9/13 開催予定)、新潟(10/4 開催予定)、福岡(10/18 開催予定)、大阪(11/1 開催予定)、名古屋(11/15 開催予定)、那覇(11/29 開催予定)でも同セミナーを開催いたします。詳細は当財団ホームページをご参照ください。

(4) ヒートポンプ・蓄熱システム採用事例施設見学会の開催

エネルギー関係記者(新聞、専門誌、テレビ等)やユーザーを対象に、ヒートポンプ・蓄熱システムへの理解促進と記事化による一般ユーザーさまへの認知度向上を目的とした施設見学会・セミナーを開催いたします。また、同セミナーでは、リニューアル案件を含めた先進事例の採用ユーザーによる講演、設備の見学を実施し、当センターから普及状況や関連する先進事例の紹介等を実施いたします。

<採用事例施設見学会>

日 程	令和元年 7 月 9 日(火)13:30~16:45 (13:00 受付開始)
会 場	さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)

※詳細は参考資料4をご参照ください。

4. 広報・告知関連の活動

(1)『ヒートポンプ・蓄熱月間』リーフレットの作成・配布

ヒートポンプ・蓄熱システムのピーク電力削減効果や省エネ・省CO₂効果等について、分かりやすく説明したリーフレットを配布いたします。

(2)インターネットホームページにて告知

・当センターホームページにて、『ヒートポンプ・蓄熱月間』の告知を行います。

ヒートポンプ・蓄熱センター URL <http://www.hptcj.or.jp/>

以 上

『ヒートポンプ・蓄熱月間』の後援・協賛団体

『ヒートポンプ・蓄熱月間』では趣旨にご賛同をいただいた以下の関係省庁・団体からご後援・ご協賛を賜っております。

【後援】(11 省庁、3 国立研究開発法人)

経済産業省、警察庁、防衛省、総務省、法務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省
国土交通省、環境省、国立研究開発法人 国立環境研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【協賛】(43 団体)

(一財)エネルギー総合工学研究所、(公社)空気調和・衛生工学会、
(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一社)建築設備技術者協会、(一社)建築設備総合協会、
(一財)建築保全センター、(一社)公共建築協会、(一社)住宅生産団体連合会、
(一財)省エネルギーセンター、(公社)全国ビルメンテナンス協会、電気事業連合会、
(一社)電気設備学会、(一財)電力中央研究所、東京商工会議所、
(一財)日本エネルギー経済研究所、(一社)日本エレクトロヒートセンター、(公財)日本環境協会、
(一社)日本機械学会、(一社)日本経済団体連合会、(一社)日本建設業連合会、
(一社)日本建築学会、(一財)日本建築センター、日本商工会議所、(財)日本消費者協会、
(公社)日本青年会議所、(一社)日本設備設計事務所協会連合会、(一財)日本地域開発センター、
日本チェーンストア協会、(一社)日本電機工業会、(一社)日本電設工業協会、
(公社)日本都市計画学会、日本百貨店協会、(一社)日本病院会、
(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
(公社)日本ファシリティマネジメント協会、(公社)日本冷凍空調学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一社)不動産協会、(一社)文教施設協会、
(一財)ベターリビング、(公社)ロングライフビル推進協会
(五十音順)

以 上

2019年度

「ヒートポンプ・蓄熱月間」感謝状・特別感謝状贈呈先

ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた62企業・団体へ感謝状を贈呈

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、皆さま方のご支援のもと、冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、各省庁、団体よりご後援、ご協賛をいただき、「ヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進と技術向上」を目的にさまざまな活動を展開しています。

その一環として、さまざまなお立場からヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご尽力いただいた企業・団体の皆さまに感謝状を贈呈しております。今年は62企業・団体の皆さまに感謝状・特別感謝状を贈呈させていただきます。

ヒートポンプ
蓄熱普及
貢献賞

蓄熱システムをはじめ、高効率ヒートポンプ等に関して「育てる」、「拡める」、「活かす」という様々な観点から、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた49企業・団体の皆さま

北海道 株式会社総合設備計画 札幌事務所 様 『医療法人社団 相川記念病院』 『釧路温原国立公園 温根内ビジターセンター』 『幌延町 同寒別生涯学習センター』 環境に配慮した高効率ヒートポンプの積極的な採用により、寒冷地における省エネルギーに貢献	北海道 株式会社マルサ笹谷商店 様 『釧之助本店(くしろ水族館 ぶくぶく)』 ヒートポンプ空調システムの採用により、寒冷地における複合商業施設の省エネルギーを実現	北海道 株式会社新和ホールディングス 様 『プレイランドハッピー二十四軒店』 ヒートポンプ空調システムの採用により、寒冷地における遊戯場の省エネルギーを実現	北海道 アルファコート株式会社 様 『ベストウエスタンプラスホテルフィノ千歳』 『JRイン千歳駅前』 ヒートポンプ空調システムの採用により、寒冷地におけるホテルの省エネルギーを実現
東北 社会福祉法人 弘前豊徳会 様 『サンタハウス弘前公園』 ヒートポンプ空調・給湯システムの導入により、省エネルギー・環境負荷低減を実現	東北 奥州市立 真城学校給食センター 様 電気温水器からエコキュートへの取り替えにより、大幅な省エネルギーを実現	東北 雫石プリンスホテル 様 ヒートポンプチラーの導入により、職場環境の改善と大幅な省エネルギーを実現	東北 社会福祉法人しらかみ長寿会 様 『地域密着型介護老人福祉施設 しののめ』 ヒートポンプ空調・給湯機の導入により、省エネルギー・環境負荷低減に貢献
東北 社会福祉法人 南陽恵和会 様 『特別養護老人ホーム こぶし荘』 環境省補助事業を活用した高効率ヒートポンプの導入により、大幅な省エネルギー・CO ₂ 削減を実現	東北 株式会社一小 イチコ 様 『イチコ直江津西店』 高効率ヒートポンプ空調・給湯システムの導入により、新店舗の省エネルギー・環境負荷低減を実現	東京 MeijiSeikaファルマ株式会社 様 『小田原工場』 永年にわたる蓄熱システムの活用により、継続的なCO ₂ 排出量の抑制に寄与	東京 さいたま市 プラザイースト 様 ESCO事業を活用した高効率ヒートポンプの導入などにより、大幅な環境負荷低減を実現
東京 高崎市 様 『高崎アリーナ』 空調と給湯にヒートポンプ・蓄熱システムを採用することで、大幅な省エネルギーとBCPを実現	東京 日本たばこ産業株式会社 様 『北関東工場』 小型ターボ冷凍機の導入により、既設吸収式冷凍機の性能低下を補い、熱源機の運転パターンの工夫で、エネルギー効率向上を実現	東京 東海漬物株式会社 様 『榛名工場』 蓄熱システムの採用により、ピーク電力の削減と大幅な省エネルギーを実現	東京 株式会社アイシステム設計 様 空調と給湯に高効率ヒートポンプを採用することで、省エネルギーを実現
東京 日本ルナ株式会社 様 『高崎工場』 他工場での導入実績を活かし、氷蓄熱システムを採用。経済性はもとより大幅な省エネルギーを実現	東京 独立行政法人都市再生機構 様 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 様 株式会社日本設計 様 株式会社竹中工務店 様 『大手町プレイス』 蓄熱槽とDHCおよびCGSの連携により、高効率エネルギー利用と災害対応力強化を実現	東京 日本テレビ放送網株式会社 様 テレビスタジオにターボ冷凍機を活用した水蓄熱システムを導入することで、大幅な省エネルギーを実現	東京 社会福祉法人 九十九里ホーム 様 空調・給湯にヒートポンプ・蓄熱システムを採用することで、昼間ピーク電力の削減とBCP対応を実現
東京 ユニプレス株式会社 富士地区 様 循環加温ヒートポンプの導入により、大幅な省エネルギーを実現	中部 サンヨーホームズ株式会社 様 エコキュートを採用し、環境に配慮した分譲マンション、分譲住宅による省エネルギーを実現	中部 信越明星株式会社 様 冷温同時ヒートポンプと蓄熱槽導入による、高効率かつピークシフトに寄与するシステムの構築で、大幅な省エネルギー・省CO ₂ を実現	北陸 医療法人財団北聖会 北聖病院 様 エコキュートをはじめとする高効率機器の採用で、省エネルギー建築(ZEB Ready)を実現

北陸 日本放送協会 金沢放送局 様 地中熱を利用した水蓄熱式空調システムを採用し、省エネルギーを実現するとともに地球環境への配慮を追究	北陸 株式会社大阪屋ショッブ 様 店舗の新設・リニューアルにあわせてエコキュートと高効率空調の採用を標準化し、省エネルギーを実現	関西 がんこフードサービス株式会社 様 新店舗へのハイブリッド給湯システムの導入により、省エネルギーを実現	関西 株式会社十川ゴム 堺工場 様 エコキュートの導入により、省エネルギー・省CO ₂ を実現
関西 アスピータ明石北館・南館管理組合 様 ガス焚吸収式冷温水機からヒートポンプチャラーへの更新により、省エネルギーを実現	関西 阪急阪神不動産株式会社 ジオ桃山台レジデンス 様 分譲マンションへのエコキュート採用により、大幅な省エネルギー・環境負荷低減に貢献	中国 株式会社エス トラスト 様 エコキュートを採用した省エネルギーマンションの普及拡大に貢献	中国 岡山県笠岡市 様 『笠岡市学校給食センター』 ヒートポンプ給湯機の導入など、オール電化の採用により、大幅な省エネルギーを実現
中国 株式会社山陽新聞社 様 『さん太しんぶん館』 短時間に大容量の冷却が必要な印刷設備に、経済性・環境性に優れたヒートポンプ蓄熱システムを採用	中国 広島県庄原市 様 『比和温泉施設あけぼの荘』 温泉水の加温に循環加温型ヒートポンプを活用し、省エネルギー・省コストを実現	中国 広島県廿日市市 様 『廿日市市庁舎』 空調熱源機の更新にあたり、水蓄熱槽の継続活用で、さらなる省エネルギー・省コストを実現	中国 社会福祉法人 正清会 様 『特別養護老人ホーム白松苑』 業務用エコキュートの導入など、オール電化を採用した新施設で、省エネルギー・省コストを実現
中国 医療法人社団 松涛会 様 『安岡病院』 業務用エコキュートの導入により、省エネルギー・省コストに優れた施設を実現	四国 きほく 優愛の里 様 複合施設において、環境を配慮した蓄熱システムなどの採用により、省エネルギーを実現	四国 東光株式会社 様 ヒートポンプを活用した気化式加湿システムにより、大幅な省エネルギーを実現	九州 地方独立行政法人 芦屋中央病院 様 ヒートポンプ蓄熱給湯機・床暖房システムの導入により、省エネルギー・省コストを実現
九州 日本精工九州株式会社 様 重油焚吸収式冷温水機から空冷ヒートポンプへの更新により、省エネルギー・省CO ₂ を実現	九州 株式会社ビックスコーポレーション西日本 様 『佐賀工場』 生産ラインの冷水利用工程に蓄熱式プロセス冷却システムを導入し、ピーク電力を削減	九州 独立行政法人 国立高等専門学校機構 様 『大分工業高等専門学校』 業務用エコキュートの導入により、省エネルギーと環境負荷の軽減を実現	九州 株式会社 ながやま 様 『HEARTYながやま住吉店』 蓄熱式ショーケースの導入により、ピーク電力削減と省コストを実現
沖縄 社会福祉法人 善隣福祉会 様 『特別養護老人ホーム 愛誠園』 エコキュートとヒートポンプ給湯機の導入により、大幅な省エネルギーを実現	沖縄 株式会社野嵩商会 様 『フレッシュプラザ ユニオン赤道店』 補助金を活用したエコキュートの導入により、ピーク電力削減と省エネルギーを実現		

特別感謝状

未利用エネルギー等を活用した高効率ヒートポンプシステムを導入された 13 企業・団体の皆さま

北海道 三建設備工業株式会社 様 株式会社三建ビルディング 様 『札幌三建ビル』 地中熱と空気熱のハイブリッド空調の採用により、寒冷地のオフィスビルで ZEB Readyを実現	東北 医療法人社団 緑愛会 様 老人保健施設『オー・ド・エクラ』 介護付有料老人ホーム『オー・ド・エクラ』 地中熱ヒートポンプの活用により、お客さまと職員そして、地域環境にも優しい施設を実現	東京 東洋熱工業株式会社 様 継続的なヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大と運転適正化により、電力負荷平準化に大きく貢献	東京 日本食研製造株式会社 様 国内初！排熱回収ヒートポンプ「3WAY」を採用し、大幅な省エネルギーを達成した最新食品工場
中部 大和電機工業株式会社 様 『松本事業所』 ヒートポンプによる未利用エネルギー（井水熱）の活用により、工場空調の省エネルギーを実現	中部 学校法人名城大学 様 蓄熱設備、地中熱利用ヒートポンプ、高効率ヒートポンプの導入により、省エネルギーを実現	中部 名古屋都市エネルギー株式会社 様 全国初！高度処理された下水再生水をヒートポンプに活用した、高効率の地域冷暖房	中部 株式会社 Mizkan Holdings 様 既存ストックである蓄熱槽を活用したリノベーションにより、省エネルギーと負荷平準化を実現
関西 積水化学工業株式会社 多賀工場 様 乾燥行程へのヒートポンプ（冷温同時取り出し）の有効活用により、大幅な省エネルギーを実現	関西 加東市役所 様 『加東市役所庁舎』 環境に配慮したエコキュート、地中熱ヒートポンプチャラーなどの導入により、大幅な省エネルギーを実現	四国 長生堂製薬株式会社 本社第二工場 様 空調熱源に冷温同時取り出しのヒートポンプを導入し、大幅な省エネルギーを実現	九州 株式会社阿蘇の司 様 『阿蘇の司ピラパークホテル&スパリゾート』 温泉排湯を活用した熱回収ヒートポンプの導入により、省エネルギー・省CO ₂ を実現

2019年6月25日

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

「イベント取材のご案内」

『ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』開催

「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理面”などから優れた6事例を表彰
設備オーナーをはじめ、設計、施工、運転管理者約250名が参加

7月22日(月) 13:00～17:25 「国際ファッションセンタービル 3F KFC Hall」

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、ピーク電力削減や省エネルギー、CO₂排出量削減に貢献する「ヒートポンプ・蓄熱システム」の“運転管理”において優れた改善をあげた事例を発表する『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を、7月22日(月)、「国際ファッションセンタービル 3階 KFC Hall(東京都墨田区)」にて開催します。

「ヒートポンプ・蓄熱システム」は、電力需要の少ない夜間に効率の良いヒートポンプ機器で水や氷に熱を蓄え、昼間の空調などに活用し、ピーク電力(昼間の電力)の削減と省エネルギー、CO₂削減を同時に達成できるシステムです。しかし、同システムは、“導入すれば完了”ではなく、その能力が最大限に発揮されるよう、システムが常に最適な状態で運転されるためのたゆまぬ維持・改善が必須です。

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターでは、この度、「ヒートポンプ・蓄熱システム」の運転管理、運用、設備の改良などにより改善のあった事例とヒートポンプ・蓄熱システムの運用によるピーク電力削減や非常災害時の対応などの有効活用事例及び未利用エネルギーを活用したヒートポンプシステムの運用改善事例を広く募集し、優秀な6事例を表彰することとしました。これに伴い、『ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』を開催し、それら事例の中から4つの優秀事例に関する発表を行います。この表彰の取り組みと、シンポジウムの開催は、本年度で16回目となり、今回も、設備オーナーをはじめ、設計、施工、運転管理者が約250名参加する予定です。また、東京大学 公共政策大学院 教授 有馬 純氏からの「地球温暖化問題と我が国の課題」と題した特別講演の他、「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割」というテーマで、慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治 氏をコーディネーターに、ゼネコン、設計事務所、オーナーをパネリストとしたパネルディスカッションも予定しています。

◆ 入賞事例

ミツカングループ本社ビル	既存ストックの創意工夫による蓄熱リノベーション
名古屋都市エネルギー(株) SL24DHCエネルギーセンター	未利用エネルギーである下水再生水(高度処理水)による省エネルギーと運用改善
三宮プラザビル EAST	更新性の高い氷蓄熱システム導入を図り、熱源システム性能を改善
山田食品産業(株) 入間工場	製麺工程急速冷却装置の改修
中野坂上サンブライツイン	水蓄熱を含む複合熱源システムの運用改善による運転最適化
ソニー(株) 厚木テクノロジーセンター101号館	熱源・空調システム改修に伴う蓄熱槽の運用改善事例

つきましては、本シンポジウムを報道関係の皆様には是非ご取材いただきたく存じます。ご多用中とは存じますが、ご出席賜りますようよろしくお願いいたします。

『第16回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム』に関する概要

日 時	2019年7月22日(月) 13時00分～17時25分 (受付12時30分開始)		
会 場	国際ファッションセンタービル 3階 KFC Hall (東京都墨田区横網一丁目6番1号)		
交 通	都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口直結 JR中央・総武線「両国駅」東口より徒歩約6分、西口より徒歩約7分		
内 容 (予定)	主催者挨拶	13:00～ 13:10	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 専務理事 北沢 信幸
	特別講演 『地球温暖化問題と我が国の課題』	13:10～ 14:20	東京大学 公共政策大学院 教授 有馬 純 氏
	休憩	14:20～ 14:25	
	改善事例の受賞者紹介、講評	14:25～ 14:40	審査委員会 代表 東京電機大学 常務理事 名誉教授 射場本 忠彦 氏
	優秀改善事例発表	14:40～ 16:00	・ミツカングループ本社ビル ・名古屋都市エネルギー(株) SL24DHCエネルギーセンター ・山田食品産業(株)入間工場 ・中野坂上サンブライトツイン の4事例を発表
	休憩	16:00～ 16:10	
	パネルディスカッション 『ヒートポンプ・蓄熱システムの 今後の役割』	16:10～ 17:20	コーディネーター: 慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治 氏 パネリスト: (株)竹中工務店 環境エンジニアリング本部 本部長 下 正純 氏 (株)日建設計 エンジニアリング部門設備設計グループ ダイレクター 佐藤 孝輔 氏 横浜市温暖化対策本部 プロジェクト課長 岡崎 修司 氏
閉会挨拶	17:20～ 17:25	シンポジウム運営委員会 委員長 柳井 崇 氏	
お問合せ先	一般財団法人 ヒートポンプ蓄熱センター 蓄熱技術部 : 笹波 TEL :03-5643-2403		

※なおシンポジウムの開催に先立ち、表彰式(関係者のみ)を開催いたしますので、ご都合がよろしければ、合わせてご取材をお願いいたします。

◆ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例 表彰式

7月22日(月)11:00～11:30(関係者集合時間10:45)、国際ファッションセンタービル11階 Room111

FAX 送付先 03-5641-4501

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部： 笹波 宛

『第16回ヒートポンプ・蓄熱 シンポジウム』

日時： 7月22日(月) 13時00分～17時25分

会場：国際ファッションセンタービル 3階 KFC Hall

シンポジウムの一部に参加する場合は、下記に○印をご記入下さい（全てご出席の場合は不要です）

	特別講演	13:10～14:20
	改善事例の受賞者紹介、講評	14:25～14:40
	優秀改善事例発表	14:40～16:00
	パネルディスカッション	16:10～17:20

※シンポジウムに加え、表彰式にご参加頂ける場合には、下記に○印をご記入ください。

	ヒートポンプ・蓄熱システム運転管理等の改善事例 表彰式 (国際ファッションセンタービル 11階 Room111)	11:00～11:30
--	---	-------------

貴社名：

貴媒体名：

貴部署名：

役職：

ご芳名：

T E L：

F A X：

E - m a i l：

ありがとうございました。

お手数ですが、本票を、7月9日(火)までにFAXにてお送りくださいますようお願い申し上げます。



2019年度電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー（高松）

参加費無料
定員50名(先着順)

蓄熱×ヒートポンプ =スマート空調・給湯システム

- 電力ピークの削減や熱の回収・再利用、災害時にも役立つ蓄熱
- 投入されたエネルギーの数倍もの熱エネルギーを取り出すヒートポンプ
- ◆有識者をはじめ第一線でご活躍の講師陣
- ◆蓄熱×ヒートポンプのスマート空調・給湯システムの最新技術を紹介



主催：
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

協賛：20団体 <<順不同>>
(公社)空調和・衛生工学会、(一社)建築設備技術者協会、
(一財)建築環境・省エネルギー機構、(一財)建築保全センター、
(一社)建築設備総合協会、(公社)全国ビルメンテナンス協会、
(一社)日本設備設計事務所協会連合会、電気事業連合会、
(一社)公共建築協会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、
(一財)省エネルギーセンター、(公社)日本冷凍空調学会、
(一社)電気設備学会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
(一社)日本建築学会、(公社)ロングライフビル推進協会、
(一財)日本建築センター、(一社)日本冷凍空調工業会、
(一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

2019

7/12(金)

13:30~17:00

13:00受付開始

会場

サンポートホール高松
61会議室
高松市サンポート2-1

アクセス

JR高松駅から徒歩3分

予定プログラム

1. 「省エネビルを実現するエネルギーマネジメント」

株式会社日建設計総合研究所 理事 上席研究員 湯澤 秀樹 氏

2. 「省エネルギー政策の動向について」

経済産業省 四国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 省エネルギー対策官 近藤 恭子 氏

3. 「長野県川上村 かわかみ保育園 再生可能エネルギー利用事例紹介」

長野県地中熱利用促進協議会 技術委員会 委員長 山中 隆 氏
株式会社 宮本忠長建築設計事務所 設計室 設備設計長 宵野間 文行 氏

4. 「温泉排水熱を利用した熱源機の更新と更なる省コスト・省CO2化に向けた取り組みについて(ふるさと交流館「さくらの湯」)」

四国電力株式会社 事業企画部 事業推進ユニット 松元 俊明 氏

本セミナーは建築CPD運営会議が運営している建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度の対象となります。CPD記録をご希望の方は参加者ID(建築士登録番号もしくは建築設備士番号でも可)を確認の上、セミナー当日受付にてお手続き下さい。

- 参加申込書 参加ご希望の方はWEB(<http://www.hptcj.or.jp/>)のセミナー申込フォームからお申込みいただくか
7/5締切! 下記に必要事項をご記入の上、FAX: 03-5641-4501宛にお送りください。後日、受講証を発行いたします。

2019年度 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー

ご芳名			MAIL					
ご所属	会社名		業種	<input type="checkbox"/> 官公庁	<input type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> ゼネコン	<input type="checkbox"/> サブコン	<input type="checkbox"/> 設計事務所
	部署名			<input type="checkbox"/> メーカー	<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 学校関係	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> その他
	連絡先	(〒)		役職		TEL:() -		
					FAX:() -			

- 問い合わせ先 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部 セミナー事務局 TEL:03-5643-2403 高松 (7/12)
- (※ご記入いただいたお客さまに関する情報は、セミナーの応募者の把握、受講証発行およびセミナー協賛各社に必要な範囲で開示・提供する場合のみにご利用させていただき、第三者(当センターと契約を締結した業務委託先を除く)に開示・提供を行いません。)

参加費無料
定員100名(先着順)

蓄熱×ヒートポンプ =スマート空調・給湯システム

- 電力ピークの削減や熱の回収・再利用、災害時にも役立つ蓄熱
- 投入されたエネルギーの数倍もの熱エネルギーを取り出すヒートポンプ
- ◆有識者をはじめ第一線でご活躍の講師陣
- ◆蓄熱×ヒートポンプのスマート空調・給湯システムの最新技術を紹介



主催：
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター

協賛：20団体 <<順不同>>
 (公社)空調和・衛生工学会、(一社)建築設備技術者協会、
 (一財)建築環境・省エネルギー機構、(一財)建築保全センター、
 (一社)建築設備総合協会、(公社)全国ビルメンテナンス協会、
 (一社)日本設備設計事務所協会連合会、電気事業連合会、
 (一社)公共建築協会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、
 (一財)省エネルギーセンター、(公社)日本冷凍空調学会、
 (一社)電気設備学会、(一社)日本ビルディング協会連合会、
 (一社)日本建築学会、(公社)ロングライフビル推進協会、
 (一財)日本建築センター、(一社)日本冷凍空調工業会、
 (一社)日本ビルエネルギー総合管理技術協会、
 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構

2019
7/25(木)
13:30~17:00
13:00受付開始

会場
RCC文化センター
601会議室
広島市中区橋本町5-1-1

アクセス
JR広島駅(南口・在来線口)より
徒歩10分

予定プログラム

1. 「建築のゼロエネルギー化と新たな放射対流空調システム」
芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授 秋元 孝之 氏
2. 「省エネルギー政策の動向について」
経済産業省 中国経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長補佐 船田 義治 氏
3. 「松山赤十字病院 新病院サステナブルプロジェクト」
株式会社 日建設計 エンジニアリング部門 設備設計グループ アソシエイト 浅川 卓也 氏
4. 「ICIラボ エクスチェンジ棟のZEB化」
前田建設工業株式会社 建築事業本部 設備部 環境技術グループ グループ長 河原 博之 氏

本セミナーは建築CPD運営会議が運営している建築CPD(継続能力/職能開発)情報提供制度の対象となります。CPD記録をご希望の方は参加者ID(建築士登録番号もしくは建築設備士番号でも可)を確認の上、セミナー当日受付にてお手続き下さい。

- 参加申込書 参加ご希望の方はWEB(<http://www.hptcj.or.jp/>)のセミナー申込フォームからお申込みいただくか
7/18締切! 下記に必要事項をご記入の上、FAX：03-5641-4501宛にお送りください。後日、受講証を発行いたします。

2019年度 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー

ご芳名			MAIL		
ご所属	会社名		業種	<input type="checkbox"/> 官公庁	<input type="checkbox"/> 各種団体
	部署名			<input type="checkbox"/> ゼネコン	<input type="checkbox"/> サブコン
	連絡先	(〒)		<input type="checkbox"/> メーカー	<input type="checkbox"/> エネルギー
				<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> その他
			役職		
			TEL:()	-	
			FAX:()	-	

- 問い合わせ先 一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 蓄熱技術部 セミナー事務局 TEL:03-5643-2403 広島 (7/25)
- (※ご記入いただいたお客さまに関する情報は、セミナーの応募者の把握、受講証発行およびセミナー協賛各社に必要な範囲で開示・提供する場合のみにご利用させていただき、第三者(当センターと契約を締結した業務委託先を除く)に開示・提供を行いません。)

令和元年 6 月 25 日

各 位

一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

『さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)』 ヒートポンプ・蓄熱システム採用事例セミナー・施設見学会開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、当財団の事業運営に対しまして 格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、ピーク電力削減や省エネルギー社会の実現は、喫緊の課題となっており、官民あげての努力がより一層求められております。ヒートポンプは、投入されたエネルギーの数倍もの熱エネルギーを取り出すことができ、また、空気熱・地中熱等の再生可能エネルギーを活用する技術として省エネルギー、省CO₂を実現する技術として近年特に注目されています。

当センターは「ヒートポンプ・蓄熱システム」に関するナショナルセンターとして、このような社会的、国家的な要請に応えるべく、電力負荷の平準化、省エネルギー性、環境性、経済性、防災性に優れた同システムの普及促進のため、様々な事業活動を展開しております。

このような活動の一環として、蓄熱システムの採用により大幅な省エネルギーを実現された『さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)』を対象とした「ヒートポンプ・蓄熱システム」採用事例に関するセミナー・施設見学会を企画いたしました。事業や設備の概要説明に加え、実際に運転管理されている方の生の声をお聞きすることができ、また実際の設備をご覧いただける機会となりますので是非ご参加賜りたいと存じます。

お申し込みの期限は、6月30日(金)とさせていただきます。(P. 4 参加申込書を FAX にてお送りください。)

ご多用中とは存じますが、何卒ご参加賜りますようお願いいたします。

敬具

【お問い合わせ先】

■一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター
業務部 森・遠山
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目28番5号
ヒューリック蛸殻町ビル6階
TEL : 03-5643-2402 FAX : 03-5641-4501



さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)

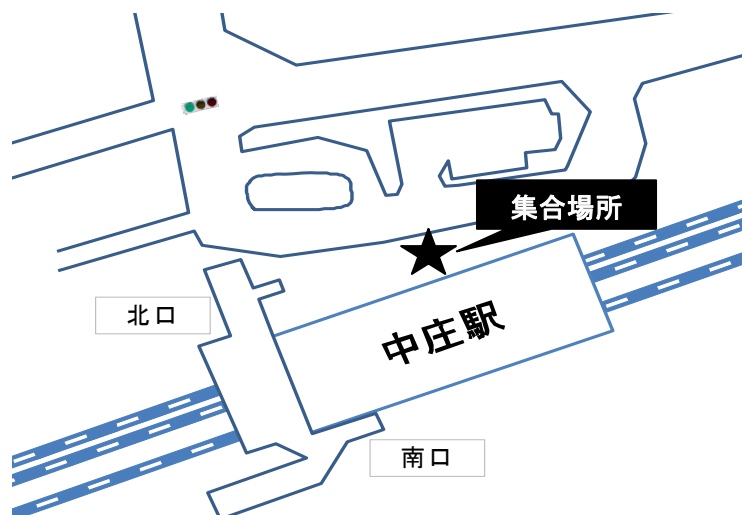
**『さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)』
ヒートポンプ・蓄熱システム採用事例セミナー・施設見学会**

日 程	令和元年 7月 9 日(火) 13:30～	
会 場	さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター) (住所：岡山県早島町早島 2672 番地 1 TEL:(086)483-2808)	
集 合 場所・時間	集合場所：JR山陽本線「中庄駅」北口付近 <small>※福山・倉敷方面の下り”快速”列車は中庄駅に停車しないため、ご注意ください。</small> 集合時間：13:00 送迎バスを手配しておりますので、上記の場所・時間にご集合ください。 なお、バスを利用されない場合は、直接会場（受付 13:00～）へお越しください。 <small>※会場の駐車場には限りがありますので、極力送迎バスを御利用ください。</small>	
参加費	無 料	
募集定員	45名 ※定員に達し次第、募集を終了しますので、早めにお申し込みください。	
<セミナー・施設見学会概要(予定)>		
① 主催者あいさつ	一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター	13:30～13:35
② 「ピーク電力削減と省エネ・省CO ₂ を同時に実現する ヒートポンプ・蓄熱システムについて」	一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター	13:35～13:50
③ 「さん太しんぶん館」の概要と蓄熱システムの導入効果について	株式会社佐藤総合計画 様 新菱冷熱工業株式会社 様	13:50～14:50
【蓄熱設備概要】 空気熱源ヒートポンプチラー 150kW×10 台 冷水蓄熱槽：800 m ³		
<休憩 ・ 「さん太しんぶん館」展示施設の自由見学>		14:50～15:20
④ 「さん太しんぶん館」の蓄熱設備等の見学		15:20～16:20
⑤ 質疑応答		16:20～16:30
⑥ 中国電力からのお知らせ		16:30～16:45
⑦ 閉 会		16:45

【集合場所・時間のご案内】

■集合時間:JR 山陽本線「中庄駅」北口付近

■集合時間:令和元年7月9日(火) 13:00

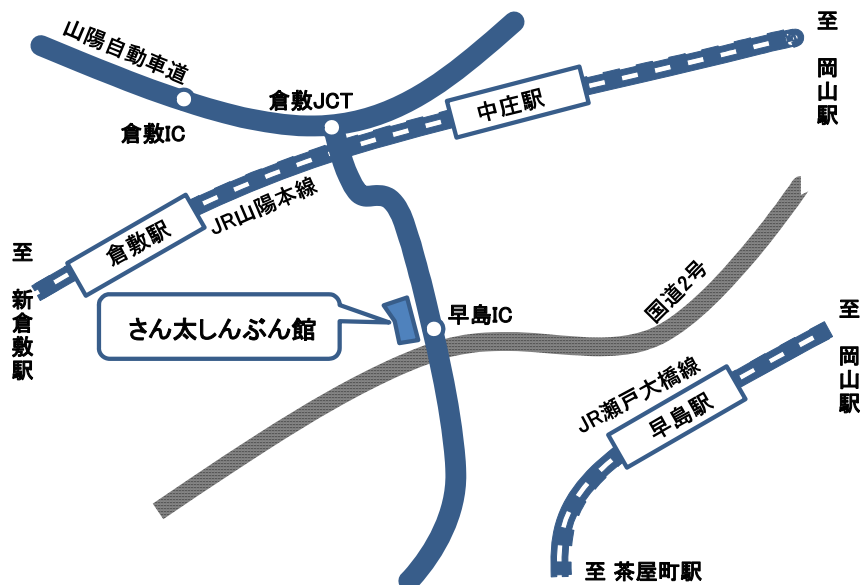


バスを利用されない場合は、直接会場へお越しください。

【セミナー会場のご案内】

“さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)”

(住所:岡山県早島町早島2672番地1 / [TEL:\(086\)483-2808](tel:0864832808))



**『さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)』
ヒートポンプ・蓄熱システム採用事例セミナー・施設見学会
参加申込書**

日時 : 7月 9日(火) 13時30分～

会場 : さん太しんぶん館(山陽新聞早島印刷センター)

1	○	セミナー・見学会に参加する。	○	送迎バスを利用する。
			○	直接会場に向かう。
2	○	資料のみ希望する。[送付先住所:]		

- お手数をお掛けいたしますが、ご参加の際は本票における事前申し込みをお願いしております。本票を**6月30日(金)までにFAX**にてご返信くださいますようお願い申し上げます。
※定員に達し次第、募集を終了しますので、早めにお申し込みください。
- 申込受付後、受講証をお送りいたしますので、本参加申込書は1名様ずつご記入ください。

貴社名			
貴部署名			
貴役職			
ご芳名	様		
T E L	—	—	
携 帯	—	—	
F A X	—	—	
E-Mail	@		

ご記入いただきましたお客様の個人情報につきましては、以下の目的に利用させていただきます。無断で第三者(当センターと契約した委託を除く)に情報提供することはありません。
 1. 申込者の把握や参加証の発行 当セミナー・施設見学会の事務運営 2. 当センターが行うセミナー・研究会・シンポジウム・展示会情報 ホームページの更新案内 トピックス等 最新情報の提供 3. アンケート調査 4. アンケートをもとにしたサービスを向上させるための分析

《お問い合わせ先》 ヒートポンプ・蓄熱センター : 業務部 森・遠山 TEL : 03-5643-2402

FAX 送付先 03-5641-4501 (一財)ヒートポンプ・蓄熱センター 業務部 宛

ありがとうございました